

## 富士山 BC 報告 3 件 長池単独

### 1、2015.4.26 富士：宝永山

- ・例年だとまだ雪があるはず、と、太郎坊に着くと既に駐車場にはたくさんの車がある。
- ・宝永山はかなり上部まで砂利が出てスキーどころの話ではない。
- ・板は置いて、アイゼン、ストックを持ってハイキングとする。
- ・登山路を離れ宝永火口を目指してダイレクトに登る。
- ・上部は残雪を拾ってアイゼン登り。
- ・火口稜はたっぷり雪があり、ワッサワッサと雪遊び。
- ・下山は御殿場口下山路を韋駄天走り。これは愉快！
- ・時間が余り須走り口へ回る。
- ・気付かなかったが“あざみライン”は既に 24 日にオープンしていた。
- ・駐車場からすぐ雪に乗れる状態だったので、アプローチ部分のみ板にシールを履いて灌木帯に入ってみる。
- ・滑れるオープンスペースはなく、灌木帯を右往左往。
- ・板を履いての藪こぎに往生して、ごそごと引き返す。
- ・須走りルートは山腹に砂利が浮いて例年になく早い雪消えである。

### 2、2015.4.29 富士：白草流し

- ・御庭駐車場に車を置いて、お中道に入る。
- ・例年より雪消えが早く、下部緩斜面にはかなり藪が出ている。
- ・中盤までは雪質が柔らかくシールも良く効く。
- ・横浜からの 2 名と一緒にあって 3200m まで登る。
- ・しかし、このあたりは深い縦溝が走り表層はクラストして不快。
- ・ガスが濃く、風も強くなり山頂部はまったく見えない。
- ・横浜の方々と“ダメだな、こりゃ”と滑降に転ずる。
- ・中盤から雪質が滑らかになり、板は浮き立つ。
- ・登ってきた 10 名ほどのパーティーが“うわ〜”とやんやの喝采である。
- ・未練があって、シール袋だけを抱えて登り返す。
- ・もう 1 本。
- ・駐車場に降りると中国からの大勢のお客さんが不審な目で凝視する。
- ・ごそごと尻尾を巻いて退散だ。

### 3、2015.5.3 富士：小御岳流し

- ・五合の駐車場はすでに観光客でいっぱいだ。
- ・板を背ってお中道へ入るのだが、単管パイプで入口が防護されている。  
(富士山は世界遺産以後、冬期登山の熟練を要求し“それ以外は入山禁止”と言っているが、登山届を出すと電話があつて発煙筒・ホイッスルの携帯などを指導される)
- ・このルートは上部で傾斜が強く雪も堅いのでのっけからアイゼンを履く。
- ・雪消えの早さはここでも顕著で、ルートの3ヶ所で砂利が出ているし、落ち口直下でも瓦礫が露出している。
- ・上部の傾斜は44°、縦溝を引いて堅い雪面が延び上がっている。  
ピッケル・アイゼンで左壁際の弱点を狙って慎重に登る。
- ・詰め、落口近くの瓦礫帯を嫌って左方雪尾根へ逃げ上がる。
- ・ようやく小御岳流しの落口上に出た。危険地帯を脱して昼食とする。
- ・稜線の対側に吉田大沢の大斜面が俯瞰される。滑りはそちらに決めた。
- ・尾根上から急斜面に飛び込む。多少の縦溝で雪は堅いがへたくそ技術でも何とかなる。斜度が落ちる中盤は広大な大斜面をひとり占め。キャホー！
- ・今の時期、お中道まで雪が繋がっていた。下部で腐ってはいるが吉田口の登山路を歩かないだけでも有難い。
- ・五合は観光のお客さままで凄まじい喧騒。そ〜と道具を畳んで脱出だ。



01,2015.4.26 宝永山山行



12.13 : 23 吉田口登山路尾根を俯瞰



14.白草流しアップ



17、宝永火口より山頂



17.13 : 52 吉田大沢山頂方向見上げ



17.五合目からの富士